



ふれあいのひろば

新町会長あいさつ

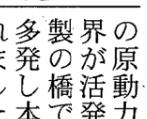
町会長 山上正



五十年前に地域の先人諸氏が、上平間第二町会と言う種をまき、代々大勢の先輩達に引き継がれながら、慈しみ育て続けてきた木が、今や、地域に歴史と伝統を持つた立派な木に成長を遂げて参りました。これからも脈々と私達は引き継ぐ義務がある。この様な歴史と伝統のある第二町会の、十二代目会長に、十八年度四月より任に就くことになりました。この様な重責を仰せつかり、身の引き締まる思いです。もともと浅学非才、微力なわたくしでありませんが、当町会の発展と充実に、持てる力の限りを尽くし、努力を重ねて行く所存で御座います。

小さな歴史 上平間第二町会

顧問 長谷川 英吉



昭和20年4月15日の大空襲は、川崎市、大田区方面に大災害をもたらした。上平間で残ったのは西福寺の本堂他2、3軒しかなく惨憺たる廃墟と化しました。瓦斯橋も東京側約20米程消失し一時板を渡して通りました。昭和26年頃朝鮮動乱が始まり一時は中国の応援を受けて北朝鮮側は釜山近く迄押寄せた危機があり、マッカーサー司令官は原子爆弾使用を本国に打診した程でしたが、米軍が逆上陸し反撃に転じ38度線の設定で朝鮮戦争は終りました。此の戦争は大変な物資を必要とし特需景気により疲弊した日本の産業界に回生の動機を与え、これを機に世界に冠たる産業日本

かわら版

平成18年7月1日発行
上平間第二町会
編集責任者 堤 秀夫
印刷所 長谷川印刷(有)

保対策は喫緊の課題として取り組む必要があります。防犯パトロール、又は、通学路に面した在宅者に協力をお願いして、下校時に合わせ、家の外に出て子供達を見守って頂く等の方法は色々あると思っております。この様に一つの課題に地域全体で取り組む事で地域に連帯感が生まれ、そこには、ふれあいの輪も広がり、活気溢れた安全で安心に暮らせる町、これを目指して努力し頑張りたいと思っております。

私も出来る限りの力を尽くしてまいります。最後に、皆様方のご理解とご協力を今後とも宜しくお願い申し上げます。



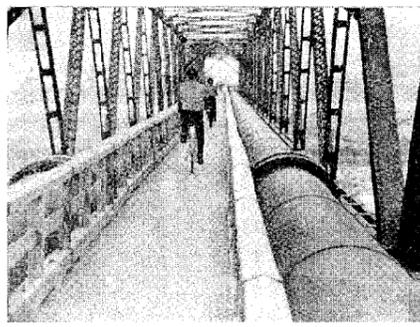
河畔にて大々的に結成式が挙行され「瓦斯橋拡張促進期成同盟委員会」という長い名称ですが正式に発足し、広く朝野に呼びかけ、早期実現に向けて立ち上がりました。

運動費は有志の浄財を仰ぐべく役員は東往西走しました。

上平間第一町	約十一万円
第二町	約七万二千元
第三町	約五千元
伊勢浦町	約七千元

この資料は故福田氏の好意でいただいたものです。

前述のとおり、橋というものは兩岸の人々が固く結ばれて、一致協力しなければ成功しません。結成大会を契機に都側に働きかけ、都県市、内務省、大蔵省、並びに国会に運動を展開し昭和31年9月大田区民会館で大会を開き、都、県連絡を密にして同一行動を取る事を確認し意義ある会となり、特に国の予算獲得に基点が出来た事は大変な成果だったと思えます。



桜の花を見ながら 親子ふれあひ 歩く会

4月2日(日)花曇りで風の強い日でしたが、親子ふれあひ歩く会を催行しました。今年コースを変更して多摩川の東京側堤防上を約1キロ歩いた時点で折り返し、ひらま公園を主会場にして昼食を食べながら満開の桜の花の美しさを堪能しました。参加者は約一〇〇人でしたが、小さな子供を連れただけのお父さん、お母さんも楽しく一時をすごしました。参加者の女性の一人は、空高く風にそよぐ桜花を見てその美しさに感動し、ぜひ俳句として気持ちを残したいと話していました。 総務部



多摩川堤防を楽しく歩く

中丸子南町	約二万円
同 中町	約一万三千元
同 西町	約一万三千元
下沼部	約二万八千元
織戸四郎	五万 円
工業倶楽部	十五万五千元
合計	約四十七万五千元

科目	17年度決算	18年度予算	摘要
収入			
前年度繰越金	2,408,448	1,803,449	雑収入のうち 五十周年関連は 887,100
町会費	3,261,550	3,200,000	
雑収入	3,201,521	2,200,000	
合計	8,871,519	7,203,449	
支出			
総務部	1,601,034	1,600,000	平成17年度 自主防災組織育成 助成事業 収入の部 補助金 900,000 支出の部 防災器具購入 900,000
防火防犯部	699,018	700,000	
衛生部	118,041	120,000	
青少年部	506,926	500,000	
交通部	121,397	100,000	
広報部	17,508	50,000	
厚生部	622,711	650,000	
管理部	352,667	320,000	
婦人部	28,504	50,000	
文化部	60,000	60,000	
高齢社会部	144,317	150,000	
防災部	208,921	750,000	
役員行動費	74,000	80,000	
渉外費	604,758	600,000	
退職記念品費	21,000	160,000	
五十周年事業	1,887,218	0	
合計	7,068,020	5,890,000	
次年度繰越金	1,803,499	1,313,449	

平成17年度 特別積立金会計 前年度繰越金 7,528,592
次年度繰越金 7,528,592

(注) 特別積立金会計は18年度収入支出とも予定はありません。

料理教室 大好評・文化部主催

加藤昂子先生による料理教室が5月13日に開かれました。献立は「バームクーヘン」「新玉葱のそぼろ煮」で、大好評でした。

材料は4人前で、①バームクーヘン「小麦粉1カップ、ベーキングパウダー小さじ1、砂糖カップ1弱(90g)、卵3個、バター大さじ7、パニラエッセンス少々」②新玉葱のそぼろ煮「新玉葱4個、鶏ひき肉100g、醤油・砂糖・酒各大さじ2杯、片栗粉大さじ1、きぬさや適量」

参加者は31人でしたが次号で感想を特集する予定です。

止めさせよう不法投棄 守ろうゴミ廃棄のルール

8-1区に不法投棄された消火器



沖縄のあしなびを踊る (ゆりの会・井上ふで子会長)

春の全国交通安全運動

4月7日～9日迄の3日間、朝7時半から9時まで延べ61人が参加し通勤、通学路を重点に実施 (交通部)

通学路安全対策 山上町会長・県局長と面談

4月20日付けで通学路安全対策推進委員会が発足しました。玉川小学校区、平間小学校区、下河原小学校区の3班に分かれ、地域住民への協力の呼び掛けを行なってまいります。この為、協力していただける地域住民の方達にはベストを購入配布し、着用して玄関前にて登下校する子供達を見守る様をお願いすることになりました。なお、この件については、県庁の村山安全防災局長に山上町会長が面談し指導支援方を要請しました。

自然、人とのふれあい
青い空、碧い海、緑の森
沖縄戦の悲劇を悼む旅



旅風会の旅・八重山諸島〜由布島
水牛車で蛇味線を聴きながら

神秘的な青い海、白い砂浜、海底の珊瑚礁、鍾乳洞、赤い瓦の屋根、シーサー、水牛車に揺られ別世界、何処までも続くさとうきび畑、黒糖、泡盛、何んだったって余韻の残る沖縄旅行だった。上妻よし江

★思い出のコーナー
私と囲碁
九区 岩下 裕治



対局中の岩下さん(右端)
町会会館にて

私が囲碁を覚えたのは、中学三年の夏だった。父と叔父が盤に向かっている姿に、白と黒の石を並べてどんな意味があるのかと、問い掛けたのがキッカケだ。すると、有段者(初段)だった叔父が、相手の石を味方の石で囲めば取れるという初歩的なルールを教わってくれた。そして、私が教わりながら石を取った時、『筋がいいね』と上手に誉めてくれた。その瞬間、叔父は我が師匠となった。

以来、すっかりその気になり、学業そつちのけでのめり込んだ。高校生となつてからは、試験期間中でも教室に居残り、同好者数人でパチリパチリやっていたほどだ。その熱意ゆえか、学力はともかく棋力は順調に伸びて、高校三年の秋には二段の認定状をいただくことができた。そうなるに、父は私に歯が立たなくなり、ハンデを付けての対局となった。その場合弱い人が黒石を持つと決まっていた。しかし、父はハンデをつけても白は白、とふんぞり返っていた。親子なればこそ許される、亡き父との懐かしき思い出である。

囲碁を始めた方や初心者にも楽しさを知っていただければと思う。お手伝いができればと思ふ。そう思うほどに、教えを請うた叔父と父への感謝とともに、『いくつになつても師匠は師匠』、ましてや親はなお更と、痛感させられる昨今である。

川柳
貴ひ来しクンシ蘭の株分けに
輝く花芽萌え立ちしには
サッカ一の日本代表選手らの
練習振りをテレビに見入る
家計簿に記入するたび気がふさぎ
できもせぬ公約ばかり繰り返し
政治家

新劇の初鑑賞で感動
川崎市民劇場へ入会して
去る4月例会の「天国まで
の百マイル」、6月例会の「電
馬の妻とその夫と愛人」を鑑
賞しました。会場は幸市民館
で映画やテレビの映像とは違
った俳優達の生の表情と息遣
いに触れて心から感動しまし
た。町会の文化部の勧めによ
り2ヶ月に1度、一流の演劇
を鑑賞できる事は素晴らしい
と思ひました。||投稿||
お問合せは左記まで。
(電)522-13580 堤

八丈島の落日
古希を疾うに過ぎた年令となり
なりましたが、先日この歳ま
で未だ見たことの無い赤い飛
行機雲を見ました。飛行機雲
といえは白いとばかり思つて
いましたので、その美しさに
暫らく立ち止つて見惚れまし
た。飛行機が遠く西の彼方に
消え去るまで2本の赤い筋が
伸びていきました。
ずっと以前、釧路から羽田
までYS11で高度五千mを
飛んだ事があります。この時
は赤い雲の絨毯の上を30分
飛行しました。丁度、太陽が
西の彼方に沈もうとするのを
追いかけていきました。この
為、夕焼けを雲の上から見る
ことになり、それは見事な朱
色の絨毯が眼下にいつまでも
続いていました。
浮世絵の葛飾北斎が描いた
有名な「山下白雨」凱風快晴
の赤富士も現実離れのしたも
のに思ひがちですが、伊豆の
ホテルから見れました。富士
山の雪が朝日を受けて真っ赤
に染まつて美しく息を呑む思
いでした。また、町会の旅行
会ですイスのマッターホルン
に行きましたところ、快晴の
朝空に突き刺さる様な頂きか
ら徐々に茜色に染まつていく
姿も神秘的でした。
海からの日の出は国府津駅
のプラットホームから見まし
た。海面が揺らいで、深紅の
太陽が海坊主の様に下が膨ら
んでいきました。一方、海に沈
む落日は、長い間見る事が出
来ませんでした。ハワイでも、
東尋坊でも、種子島でも、ヨ
ロッパ最西端のポルトガル
のロカ岬でも日没を待ちまし
たが、いつも水平線の雲が邪
魔になりました。
ロシアの文豪トルストイは、
生涯で最も感動した美しい光
景は、バイカル湖に沈む落日
を見た時だと言つたそうです。
何故なら黄金色に輝く太陽が
魂を揺さぶり感動を呼び起こ
したからです。美空ひばりの
歌つた名曲、真っ赤に燃えた

俳句・天神台句会
吟行 北鎌倉
(五月二十三日)
新緑や嘯みしめながら碑文読む
老鷹の頭上飛び交う切り通し
風薫る古寺門前に投句箱
荒井 スミ
尼寺の山麓でホーホケキョ
緑陰の立子の墓は虚子の側
春吟行友の入選に拍手湧く
梅田 松男
大南風帽子抱えて電車過ぐ
老鷹や風を道づれ切通し
古寺や竹皮を脱ぐ午後陽に
川部 露子
傘を杖想いはみやびかまくら路
ほととぎすつばらつばらと切り通し
大屋根も呑みこまばかりの青葉かな
齊藤 正子
鶯やこは亀ヶ谷切り通し
新緑の鎌倉洞窟遊びかな
鎌倉や先づ石南花の群れに会ふ
四津田富美子
走り梅雨虚子と立子の墓の前
老鷹や仏と写真小学生
夏帽子ついて歩いて句を詠めり
佐藤 輝之
はじらいの色添え楓若葉かな
背丸き人に添う手や青嵐
木下間耕作務衣の老庭師
高山 房子
燕の子旅のはじめの駅舎かな
音淋しかけこみ寺の竹の秋
木洩日にひそかに望む蓮の花
滝口 園美
滴りや地蔵微笑む東慶寺
英勝寺尼僧の背に竹落葉
寿福寺や道を覆いて青楓
堤 秀夫

うるま市の皆様の暖かいお
迎え、観光産業に働く牛車や
ガイドさんのお話等、白い砂
浜、青い海と共に胸をよぎり
ます。役員の皆様のお陰です。
八重山の春潮はげし岩縛る
川部 露子

夢のような四日間、何より
のお天気と、廻りにはいつも
優しい笑顔のお仲間が居て、
美ら島美ら島んちゅ、エメラ
ルドグリーンの珊瑚礁の海も
忘れられない事でしょう。
高山 房子

短歌
沖繩の戦跡に佇みて
戦跡の悲しみは消えず乙女等の
声なき声を風の中に聞く
忘れしの石礎に南風は吹き渡る
空どこ迄も青くはあれど
再びの痛みなかれとこの丘に
水渾渾と清らに溢る
高山 房子

老夫婦の旅だより
兄を甲う韓国の少年
韓国の古都、慶州は
新羅の国の首都であつた
ところだ。日本では言え
ば奈良、京都、奈良といつた
まいである。町は高層建築は
禁止され、伝統的な様式の建
物しか建てられない。町の周
辺には古墳も多く、郊外には
新羅時代の石仏や野仏が散在
し、市内からバスで30分の山
には535年創建の世界遺産
仏国寺がある。石と木が調和
して素晴らしい雰囲気を感じ
出しては、韓国の国宝である。
遙か東方の国から観光に来
た老夫婦は山桜の咲く仏国寺
と石窟庵で、古の文化の香り
に包まれ感慨にひたつたが、
その余韻もあつて夕食は海岸
にある地元庶民の店で魚料理
を食べることになった。
真っ暗に暮れた海岸は、た
だ白い波が打ち寄せるだけで
静かだが近くで大きな焚火が
焚かれ、ドンドンと太鼓が鳴
らされ始めた。
お祭りだと思つて老夫婦は、
一見の価値ありと見物に行つ
てみたところ、一組の夫婦と
少年が、一心不乱に太鼓を叩
きながら火を焚いている。し
ばらくして訳ありと気がつき
ば、主人に聞いたところ、少
年の兄が漁船で遭難し、両親
と共に沖に向かつて、兄の霊
を慰めているのだという。心
から恥じた老夫婦は、また現
場にとつてかえし、合掌して
親子三人にお詫びしたのだ
がある。この海に向こうには日
本と思ひながら、||投稿||

八丈島の落日
古希を疾うに過ぎた年令となり
なりましたが、先日この歳ま
で未だ見たことの無い赤い飛
行機雲を見ました。飛行機雲
といえは白いとばかり思つて
いましたので、その美しさに
暫らく立ち止つて見惚れまし
た。飛行機が遠く西の彼方に
消え去るまで2本の赤い筋が
伸びていきました。
ずっと以前、釧路から羽田
までYS11で高度五千mを
飛んだ事があります。この時
は赤い雲の絨毯の上を30分
飛行しました。丁度、太陽が
西の彼方に沈もうとするのを
追いかけていきました。この
為、夕焼けを雲の上から見る
ことになり、それは見事な朱
色の絨毯が眼下にいつまでも
続いていました。
浮世絵の葛飾北斎が描いた
有名な「山下白雨」凱風快晴
の赤富士も現実離れのしたも
のに思ひがちですが、伊豆の
ホテルから見れました。富士
山の雪が朝日を受けて真っ赤
に染まつて美しく息を呑む思
いでした。また、町会の旅行
会ですイスのマッターホルン
に行きましたところ、快晴の
朝空に突き刺さる様な頂きか
ら徐々に茜色に染まつていく
姿も神秘的でした。
海からの日の出は国府津駅
のプラットホームから見まし
た。海面が揺らいで、深紅の
太陽が海坊主の様に下が膨ら
んでいきました。一方、海に沈
む落日は、長い間見る事が出
来ませんでした。ハワイでも、
東尋坊でも、種子島でも、ヨ
ロッパ最西端のポルトガル
のロカ岬でも日没を待ちまし
たが、いつも水平線の雲が邪
魔になりました。
ロシアの文豪トルストイは、
生涯で最も感動した美しい光
景は、バイカル湖に沈む落日
を見た時だと言つたそうです。
何故なら黄金色に輝く太陽が
魂を揺さぶり感動を呼び起こ
したからです。美空ひばりの
歌つた名曲、真っ赤に燃えた

俳句・天神台句会
吟行 北鎌倉
(五月二十三日)
新緑や嘯みしめながら碑文読む
老鷹の頭上飛び交う切り通し
風薫る古寺門前に投句箱
荒井 スミ
尼寺の山麓でホーホケキョ
緑陰の立子の墓は虚子の側
春吟行友の入選に拍手湧く
梅田 松男
大南風帽子抱えて電車過ぐ
老鷹や風を道づれ切通し
古寺や竹皮を脱ぐ午後陽に
川部 露子
傘を杖想いはみやびかまくら路
ほととぎすつばらつばらと切り通し
大屋根も呑みこまばかりの青葉かな
齊藤 正子
鶯やこは亀ヶ谷切り通し
新緑の鎌倉洞窟遊びかな
鎌倉や先づ石南花の群れに会ふ
四津田富美子
走り梅雨虚子と立子の墓の前
老鷹や仏と写真小学生
夏帽子ついて歩いて句を詠めり
佐藤 輝之
はじらいの色添え楓若葉かな
背丸き人に添う手や青嵐
木下間耕作務衣の老庭師
高山 房子
燕の子旅のはじめの駅舎かな
音淋しかけこみ寺の竹の秋
木洩日にひそかに望む蓮の花
滝口 園美
滴りや地蔵微笑む東慶寺
英勝寺尼僧の背に竹落葉
寿福寺や道を覆いて青楓
堤 秀夫